

上本部学園



学校だより

第16-2号

ひやく せつ ぶ とう

# 百折不撓

令和4年6月10日

文責:校長 玉城史江

## 学校美術館

小6「歩む」

小5「草原」

小5・小6の作品 ↓



## 不審者対応講話 6/10

コロナ禍でこの2年間行われていなかった不審者対応について、今年度は講話という形で実施しました。小4~中2は、教室にて、中3は多目的教室で、本部署生活安全課の渡嘉敷・長嶺両部長からお話をうかがいました。



前半は、長嶺部長に「不審者への対応について」お話をいただきました。まずは、「逃げること」、次に「大人に知らせること」が大事であると話していました。現在、どんな人が不審者かわからない、服装では判断できないが、みんながなんとなく感じている「違和感」がある。「違和感」を感じたときは、近づくず、その場から離れ、大人に伝えるようにすると、おっしゃっていました。「へんだな」と、感じるその「違和感」を大切に行動に結びつけていきましょう。

後半は、渡嘉敷部長から薬物についてのお話でした。身近な薬物として「アルコール」や「タバコ」を取り上げていました。薬物の特徴は、依存性にあり、入り口であるアルコールから更に強い刺激を求め違法薬物に繋がっていくとの話でした。またネットについても触れ、ネット上にあげたものはすべて公共の場で伝えられるのと同じであると。人が不愉快になるものや違法性のあるものは、ネットに投稿すると犯罪となることなど、私達が気軽にやっちゃっていることが法を犯していることに繋がる事例についても説明していただきました。



また講演会終了後、校長室で次のようなこともおっしゃっていました。集団生活の場では、いざというときに(不審者や災害など)先生の指示が通るよう、「聴く」姿勢が大切だと。騒がしくして、先生からの指示が伝わらないことのないように、普段から話を聴く姿勢を意識していきましょう。そして今日学んだことは、形として行動で表していきましょう。

